

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 23.11.30 第 179 回国会第 4 号

11月30日(水)、第4回の委員会が開かれました。

- 1 国民年金法等の一部を改正する法律等の一部を改正する法律案(内閣提出、第177回国会閣法第22号)
 - ・小宮山厚生労働大臣、黄川田総務副大臣、五十嵐財務副大臣、藤田財務副大臣、牧厚生労働副大臣、辻厚生労働副大臣、三谷財務大臣政務官、藤田厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・岡本充功君外2名(民主、自民、公明)提出の修正案について、提出者岡本充功君(民主)から趣旨説明を聴取しました。
 - ・原案及び修正案に対し、高橋千鶴子君(共産)が討論を行いました。
 - ・修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。
(賛成 - 民主、自民、公明、社民 反対 - 共産、みんな)
 - ・修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。
(賛成 - 民主、自民、公明、社民 反対 - 共産、みんな)

(質疑者及び主な質疑内容)

佐々木 憲 昭君(共産)

- ・平成16年度税制改正大綱では年金課税の適正化及び定率減税の縮減・廃止分を基礎年金国庫負担引上げに充てることとなっていたにもかかわらず、その増収分の一部しか国庫負担引上げに充てられなかったことに対する厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・子ども手当等社会保障給付が預金口座に振り込まれた同日に差押えを受けて残高がなくなる事例があることを踏まえて、実質的に子ども手当等が差し押さえられることのないようにすべきと考えるが、厚生労働大臣、総務副大臣及び財務副大臣の見解を伺いたい。

坂 口 力君(公明)

- ・民主党が目指す新しい年金制度の給付水準は、現行制度と比較して高くなるのか、低くなるのか、維持されるのか伺いたい。
- ・政権交代から2年以上経過した中で民主党が目指す年金制度の国庫負担割合を今国会中に示すべきではないか。また、年内に決定される社会保障と税の一体改革大綱において年金制度改革の概要が示されることを確認したい。
- ・過去に行われた基礎年金国庫負担の繰延べ資金の返還見直しを伺いたい。

和 田 隆 志君(民主)

- ・本法律案によって基礎年金の国庫負担の2分の1を税財源で賄うようにすることは、新たな年金制度下での若い

世代の年金を確保することに繋がると考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

- ・民主党内においても年金制度の改正項目について議論しているが、厚生労働大臣として年金制度改革にどのような姿勢で臨むのか方向性を示していただきたい。

橋 本 勉君(民主)

- ・社会保障・税一体改革と言いつつ、消費税の上げのほうが先行するよう見えるが、本法律案を含め、税と社会保障改革に係る手続と順序について厚生労働大臣はどのように考えているのか。
- ・保険医の監査について、一部行き過ぎた指導・監査が行われているとの指摘があるが指導医療官の資質向上など適正な監査等が行われるようにすべきではないか。
- ・知的障害の判定における障害程度区分の不適切さや障害者支援施設の在り方について、障害者総合福祉法ではどのように見直そうとしているのか。

阿 部 知 子君(社民)

- ・前原民主党政策調査会長が2013年に「新しい年金制度」を実現するための年金制度改革法案を国会に提出する意向を示したことに対して、厚生労働大臣はどのように考えているのか。また、最低保障年金を導入した場合、消費増税5%では財源を賄えないのではないか。
- ・第3号被保険者不整合記録問題の発生原因について検証を行っている段階で、同問題に対処する法案を提出したことについて順序が違うと考えるが、いかがか。

柿澤末途君(みんな)

- ・所得税法等一部改正法(平成21年法律第13号)附則第104条で示された税制の抜本的な改革の前提となる、経済状況の好転が実現していない中で税制の抜本的な改革により確保される財源を活用した措置はあり得ないのではないか。
- ・過去10年における年金積立金の運用利回りの平均値が平成21年財政検証において設定された名目運用利回り(4.1%)を下回った理由を伺う。また、年金積立金管理運用独立行政法人の役員報酬は、運用利回りと連動させるべきではないか。

田村憲久君(自民)

- ・平成24年度以降の基礎年金国庫負担の財源に関し、本法律案において国庫負担割合 2分の1 と約36.5%との差額を税制の抜本的な改革により確保される財源を活用しているが、いわゆる埋蔵金を財源として活用することはできるのか。
- ・五十嵐財務副大臣が「年金制度は破たんしている」、「消費税増税分を子ども手当の増額に充てる」旨の発言をしているが、これらの発言の真意を伺いたい。また、年金制度の破たんとはどのような状態を指すのか。
- ・年金の特例水準解消に向けた大臣の覚悟について伺いたい。

2 特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法案(内閣提出第5号)

- ・小宮山厚生労働大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。